



【人生の繁栄と栄えへの招待状】

聖書本文:ヨシヤ記1章 1-9節/暗唱聖句:ヨシヤ記1章7節

説教者:鄭南哲牧師

(Rev.Jung nam-chul)

アメリカ人ですが、とっても独特な人生を過ごした一人の方の話をさせてください。

彼は22歳に人生初めのビジネスに失敗します。次、23歳に地方の議会選挙に立候補しますが、落選します。また24歳にふたたび、ビジネスに挑戦しますが、また失敗の繰り返しになります。34歳にもう一度地方の議会選挙に挑戦します。しかし、また失敗してしまいます。38歳に衆議院選挙に挑戦しますが、また落選します。

43歳に再び、衆議院選挙に挑戦しますが、また落選です。46歳には上院議員選挙に挑戦しますが、また落選です。47歳になる年、副大統領選挙に挑戦しますが、落選です。49歳になる年にもう一度上院議員選挙に挑戦しますが、また落選です。しかし、51歳になる1860年、彼はついにアメリカの大統領に当選されます。彼の名前はあの有名なアメリカ16代目の大統領エイブラハム・リンカーンでした。彼は、家が貧しく、聖書によって育った真実なクリスチャンでした。彼の友達がリンカーンに大統領の当選お祝いのあいさつを交わしながら、リンカーンにこう言いました。“あれほどたくさん失敗したのに、やっと成功しましたね。”するとリンカーンは彼の独特の笑顔でこう答えたそうです。

“失敗なんて。私には失敗したことはないですよ。成功は私に向かう神様の計画であり、望みですから、今までなめた苦杯はただ、今の成功となるための大切な経験の蓄積(ちくせき)にすぎません。”エイブラハム・リンカーン! 彼は自分の人生の成功を神様が計画されたと言う信仰と信念で一心に走って来た人物でした。

今日聖書本文の箇所には人生の繁栄、栄え、成功に対する神様の約束が記されています。

7節です。「ただ強くあれ。雄々しくあれ。わたしのしもべモセがあなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて、右にも左にもそれではならない。あなたが行くところどこでも、あなたが栄えるためである。」

ここで「**栄える**」という単語は大体の英語の聖書では“you may prosper”(繁栄する)と訳されています。我らがよく参考になっているNIV聖書の翻訳には「**you may be successful**」(you may succeed)(成功する)とも訳されています。ですから「**栄える**」という単語の代わりに「**成功**」という単語を使っても間違っはしません。

もちろん、こんにちこの成功と言う単語はとっても世俗的(せぞくてき)な意味でよく使われていることは事実です。

つまり、**人が自分の願い通りなることや自己実現すること、自身の欲を満たすことによって、人生の成功を成就しようとする**でしょう。しかし、そこには、完全な満足も自己実現もありません。**自分の存在意識と人生の真の成功は、人が自分の欲求の満たす次第にあるのではなく、神様との関係の中で決まることになること**を、最近の早天で創世記の御言葉を黙想しながら、教えられています。はじめの人アダムとエバが、神様とのお言葉、神の御約束の忘れ、破って、罪を犯してしまった時に、神様との関係が切れてしまった時に、彼らは恥ずかしくなり、責任を愛する人にさせてしまったり、愛する人々との関係を歪曲され、揺らいでしまうことを学ばされているでしょう。

我らが信じる創造主なる神様は、父であり、信じる我らは子どもです。イエス様はぶどうの木であり、我らは枝だと教えて下さいました。そのような関係を忘れてはいけません。**生ける神様との関係で、自分がどんな存在なのかいつも覚えておく人の人生は揺らぎません。欲しいものがすべて手に入れなくても、神様との関係が正しく保たれていれば、幸せで、満たされ感謝の人生となりますが、しかし、欲しいと思うものをすべて手に入れたとしても、神様との関係が絶たれるなら、我らの人生も倒れるしかない存在であることを創世記から始め、聖書はよく教えて下さっています。**

問いかけは、信仰生活においてとても重要です!

神様は、神様のお言葉と約束に破り逆らって、善悪の知識の木の実を食べて罪を犯してしまったアダムをしておられ、今どうしているのか全てを知っておられたのにも関わらず、「**あなたはどこにいるのか(創世記2:9)**」と問われました。それは、神様はアダムをただ厳しく叱る問いかけではなく、神の御前で、今の自分の霊的な状態、神様との関係を振り返り、顧みて、自分を点検して、罪を犯したとしても、また調節され、見直すチャンスを与えようとされた御心を知ることが出来ます!

今日の本文であるヨシヤ記にも、結局記されている**栄える**、もしくは**成功する**と言う単語の意味をある旧約学者は、「**我々の人生において神様が計画された通り成就すること**」だと定義したその通りだと信じます。

ですから一人一人への**神様の御心**があります。**神様の御計画**があります。聖書はその御心とご計画が神様の思われるどおりに成就されることが**成功**、もしくは**栄えること**だと教えています。願わくは始まった8月、残りの今年2022年の間もみなさん一人一人に向う神様の御心と計画すべてがかなえられ、成功し、足りないところなく全てが満たされ、溢れる栄えを実際体験していく全神の家族となりますように切にお祈り申し上げます。

<ヨシヤに与えられている人生の課題と使命>

今も、始まったこの8月中にも、みなさんに与えられている課題は何でしょうか。神様から、どんな責任があるのでしょうか。成すべきことは何があるのでしょうか。

今日の本文の主人公であるヨシヤには神様から与えられた課題がありました。イスラエルの民はエジプトから出て、40

年間の荒野の険しい旅を経て、ついにカナンの地を目の前においた状態に置かれています。そのイスラエルの民を導いてカナン^①の地に入り、彼らがその約束の地で定着できるように助けること、それがヨシュアに預けられた神様からの使命と任務でした。

そうってしまったのは、ある日、突然、イスラエル民族の偉大な指導者であったモーセが亡くなってしまったからでした。それに、去ってしまったモーセの不在の代わりとして、新しくイスラエルの指導者となったのがヨシュアでしたが、彼は霊的な経験も、経歴も、モーセのような強いリーダーシップもない弱い指導者でした。彼にはモーセが持っていた強烈なカリスマもありませんでした。まだ、民たちには信頼されているわけでもありません。

ですから、彼はとても心細く、不安で恐れていたのに間違いないでしょう。しかし、彼を用いるために召して下さった神様はヨシュアに対し、必ずあなたの人生を繁栄させ、成功に導いて下さると約束されます！そして、今日の本文でその繁栄と栄と成功の秘訣をに教えてくださるまさに、神様からの“繁栄と栄え(成功)への招待状”だとも言えるでしょう。今日ヨシュアに与えられた御言葉はヨシュアだけに適用されるのではなく、あらゆる時代を生きていくすべての神様を信じる人々にも同じく適用されるからです。今日の聖書本文が教えている人生の繁栄と栄えと成功の秘密は次の二つを覚えて、守り行って我々もヨシュアのような満たされ、祝福された人生となりますようにお祈り申し上げます。

<人生の繁栄と成功との秘訣> 1. あなたの心を強く、雄々しくあれ。(6・7・9節)

我々の心が弱くなってくると、不安と恐れが我々を支配して来ます。一旦、不安と恐れが我々の人生や思いを押し寄せてくると、我々の意識世界は瞬間的に、しばしば麻痺され無気力になります。冷静にものごを見極めたり、正常に考えることも、判断することも難しくなり、感情的にとても動揺し、波が激しくなるでしょう。ヨシュアもいくら勇士であってもそうだったみたいです。

そういうわけで、今日聖書本文では、神様は、不安で恐れていたヨシュアに、6-7, 9節に続けて、何よりも「あなたの心を強くし、雄々しくあれ。」と命じながら、恐れなど強調しています。

みなさん、おどろくことは、聖書全体に恐れるな！恐れてはならないという御言葉が何回くらい出てくるのか御存知ですか。正確に365回です。その意味は、きっと、神様は1年365日日々、思い煩いやすく、恐れがちの我々が恐れないようにと気づかせ、教えて下さっているのではありませんか。

*イザヤ書41章10節「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」

しかし、問題はどうやって恐れないでいられるのかです。そして、どうすれば自分の心を強く、雄々しく守ることができるのかでしょう。神様は単に恐れないで、心を強くするようにと教えてくださるだけではなくその方法まで教えて下さっています。今日のヨシュアに神様は、二つの態度を持つように教えて下さっています。

①つねに私とともにおられる神様を信頼することです！

その当時、イスラエルの英雄(えいゆう)はモーセでした。神様はヨシュアにこう語っておられます。

「わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない(5節)」神様は以前、あんなに大いに用いられたモーセになったのはモーセ自身が持っていた能力や、才能、資格、資質(しじつ)ではなく、神御自身がモーセとともにおられたからであると指摘してくださっています。

その偉大な神様がこれから、ヨシュア！あなたといつともにおられるのを約束してくださっているのです。

その偉大な神様が、決して「わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない」とさらに強調しながら、再確認をヨシュアにして下さっているのです！！

その全知全能の偉大な神様が我々とともにおられる！なら、何を恐れることがあるのでしょうか。

神様を信じ、従う民たちが、この地上で味わえる最高の特権と祝福があるなら、それは神様とともに生き、ともに交わり、ともに過ごすことです。

しかし、それを忘れてしまって自分一人ぼっちだと感じたり、神様が今もわたしと共におられるという確信がなく、信じないため、信じられないから、また恐れるようになってしまわないでしょうか。

例え、マルコの福音書4:35-41節を見ると、イエス様と舟に乗ってむこうの岸へ渡ろうとしていた時、激しい突風や荒波が襲った時、彼らは恐れ、暴れていました。しかし、寝ておられたイエス様は、起きて、その突風と大波を静まらせてから弟子たちに「どうしてそんなに怖がるのか。信仰がないのはどうしたことなのか。」と叱りました。どんな意味でしょうか。今神の御子キリストがこの舟と一緒に乗っておられるのにも関わらず、どうして、わたしに頼らず、求めず、ずっと目の前の出来事に暴れて、恐れて、信仰と心がすべて捕らわれてしまっていたのか。目の前の荒波に心すべて捕らわれ、流れてしまい、共におられる今も生きておられる神の存在さえも忘れて、失ってしまう過ちをイエス様は指摘して下さいました。

どうか、愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！残りの今年中、人生の中、我々も弟子たちのように、目の前に起っていることに心も、信仰も捕らわれてしまい、みなさんとともにおられる神様を見逃してしまい、恐

れ不安苦しみ続けた弟子たちの繰り返しにならないようにともに気をつけましょう。

愛する信仰の家族のみなさん！ イエス様がどうしてこの地に来られたのでしょうか。新約の始めの福音書であるマタイの福音書1章で御使いがイエス様の誕生を予告します。そして生まれるイエス様のあだ名をのべつたえます。

それは“**インマヌエル**”で、“**神様は我々とともにおられる。**”という意味でしょう。

神様のひとり子が人の子としてこの地に来られた理由は我々とともにおられるためでした。全能者なる神様は我々の人生において具体的にともにおられるために肉体の体をもってこの地に来られたのです。マタイの福音書の初めだけではなく、最後の章である**マタイの福音書20章28節**でイエス様は「**見よ。わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。**」と約束されました！世の終わりまで我々とともにおられるということです。

***創世記(Genesis)28章15節「見よ。わたしはあなたとともにいて、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」**

神様がともにおられるという約束を信じる瞬間さらに我々は強くなることができます。この地上でのみなさんの人生が終わるまで、今年が終わるまで、みなさんの心が恐れず、不安になれず、揺るがず、強くなって守られて行くためにはみなさんを決して捨てずに、すでに共におられるイエス・キリストを忘れないで下さい。いつも、どこにでもみなさんと共におられる主を信じ、意識して、これからも共に歩みましょう。そうすることによって、必ず我らの心がさらに強くされ、さらに繁栄され、栄と成功へ導かれると信じます！アーメン！

②どんな時にも神様の約束を信頼することです。

神様はヨシヤにどんな約束をされましたか。地に対する約束をしてくださいました。

「**3あなたがモーセに約束したとおり、あなたがたが足の裏で踏む場所は ことごとく、すでにあなたがたに与えている。4あなたがたの領土は、荒野からあのレバノン、そして大河ユフラテス川まで、ヒッタイト人の全土、日の入るほうの大海までとなる。6強くあれ。雄々しくあれ。あなたはわたしが父祖たちに与えると誓った地を、この民に受け継がせなければならないからだ。」(3,4,6節)**

この約束はつまり神様の御計画です。今ヨシヤはこの神様の計画を成就させるための道具として用いられようとしているのです。神様が計画を立て、その計画を自分に約束としてくださったのなら、その約束はかならず成し遂げられるのではないのでしょうか。神様がご計画を立てそれを成就させたがるのであれば、そしてその成就の道具として私を召しておられるのなら私が行く道がどんなにけわしく、苦しみの道だとしても神様がその私を助けてくださらないはずはありません。あわれみ深い神様、恵みの神様が我々を助けてくださらないなんの理由はないはずです。

みなさんの人生においても神様の確かな計画と目的があることを信じますか。そしてその計画が神様の御心になつた計画であるなら、神様は御心をなされるためにみなさんをかならず用いてくださることを信じて下さい。

みなさんの持っている夢と計画が単なる自己実現や自分の欲を満たすことに過ぎないことであるなら、我々はなんの確信も持つことができません。しかし、それが御言葉の中で約束された内容であり、祈る中でみなさんにも神様がそう望んでおられるなら、みなさんがそれを信じて、行った時に、神様はその計画をなされるように、かならずみなさんを助けてくださると信じます。神様はその計画の成就の道具となられるみなさんをかならず助けてくださいます。

みなさんの味方となってくださると信じます。みなさんを立ち上がらせてくださると信じます。時々、あきらめなくなり、疲れ果ててつらい時でも神様はかならずその障害物を乗り越え、勝利へ導いて下さることを信じて下さい。問題はこの神様の約束が成就されるまで、どれだけあきらめないで最後まで神様を信じ続け、信頼し続けて進んで行くかです。

<人生の繁栄と成功との秘訣>

2.毎日神様の御言葉をつかんで生きることです。

本文の7,8節では“**すべての律法**”と“**律法の書**”という単語が出ています。ここでのすべての律法の書もしくは、律法は十戒を指す狭い意味での律法ではなく、**神様の全体の御言葉を意味する広い意味の律法**です。

イスラエルの民たちは**神様の御言葉全体**を言う時それを“**律法**”もしくは**トラ**とも言いました。

ですから**律法の書を離れない**ということは分かりやすく言うと**聖書から離れないように**という意味です。

みなさんとみなさんの子どもたちの人生が、まことに繁栄と栄える、成功の人生を望んでいるなら、聖書の神の御言葉をつかんで生きなさいということです。この世には数多くの本が出版され、読まれています。たましいの救いを約束するたった一冊の本があります。あの永遠の世に対する望みを約束する一冊の本を御存知ですか。いますぐ死んでも神様の御国に入れると言う確信を約束する一冊の本を御存知ですか。ねじれた人生と苦しみを覆っている人々に向けて、苦しみからの解放と癒しと新しい力と希望を約束して下さっている一冊の本を御存知ですか。

今日の本文によると、その一冊の本が神様のトラ、つまり律法の書、聖書です。まことの成功(神様が言われる成功)を望んでいるなら、この律法の書を口から離さないようにと聖書は命じています。

この神様の御言葉が我々の究極的人生の目標と方向を示し、我らに与えられている神の御約束と計画を教えてください。その神様の御言葉をつかんで生きる方法は二つあります。

①御言葉を黙想することです。

本文8節、「あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。」

ここで「口ずさむ」という単語は単なる唱えるより、黙想すると言えます。本来の意味は“意図的にかり返しつつ深く考えること”です。黙想というのはうわべだけの単純な考えではありません。その御言葉を深くじっくり、噛み砕いて考えることです。この御言葉はつねに自分の人生とどのように関連付けて適用させればいいのか、じっくり考えなさい。ということです。

②御言葉のとおり具体的に適用することです。(7,8節)

「あなたに命じたすべての律法を守り行なえ。…そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。」

神様の御言葉を深く黙想し、自分の人生に照らしていただいた後は、その御言葉のとおり生きるようにと心がけてください。御言葉をそのまま守り、行なって見て下さい。従ってください。みなさんの生活に適用してください。そうするとみなさんの人生は栄え、成功するでしょう。愛する信仰の家族のみなさん! 神様の御言葉を正しく黙想し、その御言葉のとおり生きるために、今年一年間、聖書を学び、徹底させるようにと心に決めてください。

きちんと神様の御言葉を学ばなければなりません。ただの知識のためにする聖書の学びは最悪の聖書の学びです。自分の人生、生き方への適用や変化のためにする聖書の学びこそ最善の聖書の学びではないかと思えます。神様の御言葉に自分の姿と人生を照らして見て下さい。今のみなさんの姿を聖書に通って見るようにしてください。聖書をとおして、自分のどんなところが間違っているのか。自分にはどんなところが変えられ、回復されるべきなのか?と自問してみてください。神様の御言葉の前で、まじめになやみ、まことの回復と、変化を追い求める人々はかならず、そのように変えられると信じます。なぜなら、聖書をつかんで、みがく人々はかならず、聖書の主人公であるイエス様に出会えるからです。

聖書はそのような人々に聖書の言っている成功を約束していることを忘れないでください。

「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです」(ヨハネ5:39)

メッセージを終らせます。愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰のみなさん! 聖書知識はすこししかなくても大丈夫です。しかし、聖書から離れないで、聖書をつかんで、御言葉による主の導きを日々いただくみなさんとなりますようお祈り申し上げます。主の導きを受けて生きる人生は必ず繁栄され、栄え、成功する人生となるように主が導いて下さいます。それこそが地上の大いなる祝福ではないでしょうか! 神様がともにおられる、共に交わり、歩む人生、この成功と栄えを体験しさらなる神の祝福を味わう8月となりますよう切にお祈り申し上げます。アーメン!